

2024年度 必修問題対策教材付き

# 必修問題トレーニングテスト 50問×2

確実に得点しなければならない「必修問題」をしっかりトレーニング!

看護師国家試験の「必修問題」では、臨床で必ず求められる「必修知識」「必須手技」が問われます。

国家試験の最新情報はもちろん、臨床現場の状況も鑑みて問題作成に当たっています。

お申し込み特典の「必修問題対策教材」を合わせて活用すれば、より効果的な国家試験対策や実習前学習が可能。

## 実施対象者

● 全学年〈特に、最終学年のみなさま〉

## 受験するメリット!

### 学生

- 最終学年：国家試験に向けた総仕上げとして合計100問に挑戦できる
- 低学年：最終学年前でも解答できる問題が多いことや、国家試験本番で正答率80%が必須であることを意識できる

### 教員

● 50問2セットの構成なので、実施スケジュールが柔軟に設定できる

## 受験料

(税込)

単品	2,000円	必修問題対策教材付き
セット価格	5回セット 8,200円	(対策テスト全3回+必修+基礎学力)
	4回セット 7,200円	(対策テスト全3回+必修または基礎学力)
	3回セット 6,000円	(対策テスト1~3回、必修の4種のうち3種選択)

Nプラス無料提供!

## 実施推奨期間

2024年4/9(火)~2025年3/21(金) 初回発送日 2024年4/5(金)

## 全国成績集計日程

1次	5月15日(水)	7次	8月7日(水)	13次	10月30日(水)	19次	2025年1月22日(水)
2次	5月29日(水)	8次	8月21日(水)	14次	11月13日(水)	20次	2025年2月5日(水)
3次	6月12日(水)	9次	9月4日(水)	15次	11月27日(水)	21次	2025年2月19日(水)
4次	6月26日(水)	10次	9月18日(水)	16次	12月11日(水)	22次	2025年3月5日(水)
5次	7月10日(水)	11次	10月2日(水)	17次	12月25日(水)	23次	2025年3月19日(水)
6次	7月24日(水)	12次	10月16日(水)	18次	2025年1月8日(水)	最終	2025年4月2日(水)

## 出題構成

国家試験の最新情報や臨床第一線の状況を鑑みて問題を作成  
国家試験対策だけではなく、実習や臨床に役立つエッセンスが満載の実力テスト

■ 出題形式：四肢択一、五肢択一

■ 出題領域：必修問題

※令和5年国家試験出題基準に則っています。

内容	問題数	配点	時間
客観式必修問題A	50	50	各50分
客観式必修問題B	50	50	

詳細・お申し込み

MC 株式会社 メディカ出版 基礎教育営業課

〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

お申し込みはこちら▶

国家試験対策 メディカ



# メディカコンクール

2024年度  
リニューアル

# 必修問題 トレーニングテスト

必修問題  
対策教材付き

50問×2

受験いただく皆様に、【知識の関連付け】による

理解をサポートする必修問題対策教材

『必修問題対策これだけお守りブック2025』を進呈!

勉強習慣のない学生でも最後まで取り組めるように、全16章144ページに必修問題の頻出・重要項目をコンパクト収録。1日1章8ページを約2週間ほど続ければ、必修対策を進めることができます!



特別に【27ページ分】の紙面をWEBで公開中!!



必修問題の得点の伸び悩みはございませんか?

模試と対策教材を活用して、夏休み期間内で必修対策を完了させましょう!

7/18までのお申し込み完了で、7月末までにお届けいたします。

※弊社でのお申し込み手続き完了後に、順次お届けいたします。

■得点UPのための「メディカコンクール必修問題トレーニングテスト」活用方法



### お申し込み推奨期間

7月18日までにお申し込みいただければ、7月中に教材『お守りブック』をお届け。

### 教材お届け期間



### 8月は教材『お守りブック』で学習を進める。

2周を目安に学習を促してください。全16章144ページなので、毎日1章ずつ取り組んで、1か月間で2周できます!

### 9月に模擬試験の受験日を設定して、学習成果を確認してください。

少なくとも2周読み込んだタイミングでの模擬試験受験が効果的!  
※マークシート提出の翌営業日は、採点結果がwebで確認できます。

MC メディカ出版



## 10 人体の構造と機能

### 1 人体の基本的な構造と正常な機能

いわゆる「解剖生理」。いろいろと試験のヤマはあるけれど、  
まずはここに記載した内容を理解しながらマスターしてしまおう。

動脈で正しいのはどれか。

- ① 骨格筋の収縮は動脈の血流を助けている。
- ② 内膜、中膜および外膜のうち中膜が最も厚い。
- ③ 逆流を防ぐ弁が備わっている。
- ④ 大動脈は弾性線維が乏しい。

(第97回 午後5問)

よく  
出る!

### 動脈と静脈 ★★

動脈は内膜、中膜および外膜のうち  
**中膜が最も厚い**。動脈の中膜は**平滑筋層**と**弾性線維**に富んでおり、高い血圧に耐えられるように中膜が厚くなっている。

静脈には逆流を防ぐ弁が備わっており、骨格筋の収縮は静脈の血流を助けている。

### 血管の名称 ★★★

心臓から拍出される血液を流す管が**動脈**で、心臓に戻る血液を流す管を**静脈**という。酸素の多い動脈血が流れる管が動脈ではないことに注意!



### Point

肺循環：心臓の右心室から肺に出て行く血液は二酸化炭素の多い静脈血だが、その血液を流す血管は**肺動脈**という。肺で酸素が増えた動脈血が心臓に戻る血管を**肺静脈**という。

### 栄養血管 ★★★

栄養血管は「酸素を臓器に届ける血管」だと理解しよう。文字どおりの栄養物を流す血管だと思わないように!

### 心筋の栄養血管は冠状

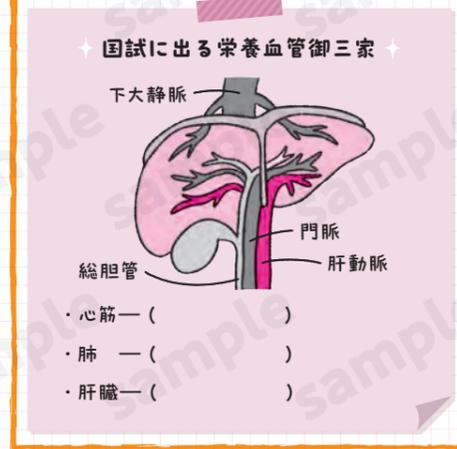
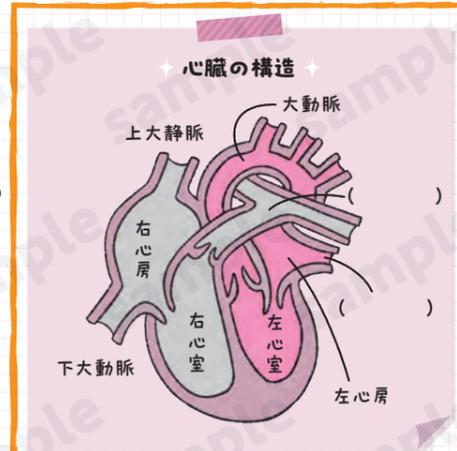
動脈、肺は**気管支動脈**、肝臓は**肝動脈**。特に**肝臓は要注意**。肝臓には門脈という血管があるが、門脈は小腸から吸収された栄養分が多く流れる血管であるが、**栄養血管ではないことに注意**。

### 肝臓の働き ★★★

肝臓は血液の浸透圧を維持する**アルブミン**、血栓の成分になる血液凝固因子の**プロトロンビン**や**フィブリノゲン**が作られる臓器である。この二つの違いはプロトロンビンの生成には**ビタミンK**が必要であり、そのビタミンKを阻害するのが**ワルファリン**である。そのため、ワルファリンを内服する時は、**ビタミンKを多く含んでいる納豆は禁忌**となる。



アルブミンやプロトロンビン、フィブリノゲンはタンパク質なので、「タンパクを生成」すること、つまり「タンパク代謝」と言い換えることができるよ



### CHECK 3

学生が勘違いしやすい・理解しづらい内容は「Point」としてピックアップ!

### CHECK 4

図表をまとめたふせん風メモは、切り貼りすることで、ノートづくりに活用できる! 自分の苦手を見直せる、オリジナルノートをつくるきっかけに。

### CHECK 5

暗記を避けるため、本文内容をさらに噛み砕いた解説を掲載。理解が深まり、さまざまな切り口の出題に対応できるようになる!

### CHECK 1

実際の過去問題を掲載。国家試験ではどんな内容が問われるかをしっかり押さえられる!

### CHECK 2

豊富なイラストで、重要なポイントがひと目でわかる! 本文を読み、学生自身が書き込んで図表を完成させることで、知識の定着をサポート!  
※解答はweb上で公開  
ダウンロードもできるので、印刷して自分のノートに貼るなどの活用も可能!

解答 ②

## 目次

### 1章 健康の定義と理解

- 1 健康に関する指標
- 2 受療状況

### 2章 健康に影響する要因

- 1 生活行動・習慣
- 2 生活環境
- 3 社会環境

### 3章 看護で活用する社会保障

- 1 医療保険制度の基本
- 2 介護保険制度の基本

### 4章 看護における倫理

- 1 基本的人権の擁護

### 5章 看護に関わる基本的法律

- 1 保健師助産師看護師法
- 2 看護師等の人材確保の促進に関する法律

### 6章 人間の特性

- 1 人間と欲求
- 2 対象の特性

### 7章 ライフサイクル各期の特徴と生活

- 1 胎児期
- 2 新生児・乳児期・幼児期
- 3 学童期
- 4 思春期
- 5 成人期
- 6 老年期

### 8章 看護の対象としての患者と家族

- 1 家族の機能

### 9章 主な看護活動の場と看護の機能

- 1 看護活動の場と機能・役割

### 10章 人体の構造と機能

- 1 人体の基本的な構造と正常な機能
- 2 人間の死

### 11章 徴候と疾患

- 1 主要な症状と徴候
- 2 主要な疾患による健康障害
- 3 基本的な臨床検査値の評価

### 12章 薬物の作用とその管理

- 1 主な薬物の効果と副作用 (有害事象)
- 2 薬物の管理

### 13章 看護における基本技術

- 1 コミュニケーション
- 2 看護過程
- 3 フィジカルアセスメント

### 14章 日常生活援助技術

- 1 食事
- 2 排泄
- 3 活動と休息
- 4 清潔

### 15章 患者の安全・安楽を守る看護技術

- 1 療養環境
- 2 医療安全対策
- 3 感染防止対策

### 16章 診療に伴う看護技術

- 1 栄養法
- 2 薬物療法
- 3 輸液・輸血管理
- 4 採血
- 5 呼吸管理
- 6 救命救急処置
- 7 皮膚・創傷の管理